

全力で駆け抜けた北森カレッジの一年

北森カレッジが開校して早くも1年が経とうとしています。これまでを振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響で授業の開始が6月になったことから、授業の遅れを取り戻すべく、カリキュラムの大幅な見直しや夏・冬休みの短縮など、生徒にとっては大変な年となりました。

入学当初、チェーンソーやハーベスタなど林業で扱う道具や機械に初めて触れた生徒は、今では基礎的な技術をしっかりと身に付け、短期インターンシップ先の企業等からも高い評価を得ています。これまでの生徒の成長は、毎日接している教員でも感じられるほど目覚ましいものがあります。また、実習中の大きな事故や怪我もなく、生徒の皆さんが教員の指導に従って集中して授業に取り組んでくれたお陰と考えています。2年生になると、3週間におよぶ長期のインターンシップや自主研究など総合的な学習を進めてまいりますので、生徒がより逞しくなって実践的な技術や知識を着実に身につけてくれることを期待しています。

今後は、生徒の就職活動が本格化します。学院では、残り1年、生徒が充実した学校生活を送り、希望する企業や業種に就けるよう全力でサポートしてまいります。

■これまでに取得した資格等（選択科目も含む）

1	上級救命講習	7	荷役運搬機械等によるはい作業従事者
2	刈払機取扱作業者	8	車両系建設機械(整地等)運転(3t以上)
3	伐木等業務従事者	9	走行集材機械運転業務
4	玉掛け	10	伐木等機械運転業務
5	小型移動式クレーン運転	11	フォークリフト運転業務(1t未満)
6	不整地運搬車運転	—	—

冬期の授業も頑張っています

北海道では、冬期間でも樹木を伐るため、冬山の歩き方や積雪時の伐採方法を学びます。

旭川市は、例年より雪が多く、公共交通機関が運休し臨時休業となった日もありましたが、生徒は寒さや雪の多さにも負けず、元気に実習を頑張っていました。

特に、山スキーやスノーモービルは初めて経験する生徒も多く、楽しそうに授業を受けていました。



〔伐木実習〕



〔冬山踏査実習〕



〔実習後のひととき〕

学校生活の一年を振り返って

【五十嵐巧真さん】

この一年間、山々に囲まれた風光明媚で心地よく、自然に触れあえる旭川で生活してきました。学院では、専門性の高い授業のほか、面白い授業も多く、学友とも楽しく過ごしています。また、山菜部と山部の部活動が充実しており、非常に楽しい学校生活です。これからは、林業の知識を深く学び、就職後に活かしていきたいです。



【岩井慶太さん】

初めての旭川の生活は、積雪量にびっくりしましたが、スキー場が近くにあるのが魅力に感じました。この一年、毎日新しいことを学ぶので刺激があり、時間が過ぎるのが早く感じます。また、休日も夏はバーベキュー、冬はスノーボードなど充実しています。今後は、私の学年では出場が叶わなかったJLC（日本伐木チャンピオンシップ）に興味のある後輩を探したいです。



【川島昂也さん】

北森カレッジに入学し、新天地である旭川で生活することはとても不安でしたが、徐々に慣れました。新型コロナウイルスの影響で授業開始が遅くなり、当初はどうなるかと思いましたが、今は仲間達と勉学に励む毎日を送っています。これからは長期インターンシップや就職活動にしっかり取り組み、この学院で学んだことを将来に活かしたいです。



【杉戸達矢さん】

旭川での生活は、路線がたくさんあるバスでの移動に慣れてきて、快適になってきました。今までの一年間は仮校舎での授業だったため、4月からの新校舎での授業が楽しみです。今後は、自分の不得意な分野を克服できるように頑張っていきたいです。また、最近立ち上げた「山部」の活動について実績を残していきたいです。



【高本颯佑さん】

北森カレッジへ進学するため、旭川へ移り住んでから一年が経ち、だんだん生活にも慣れてきました。学院での生活は毎日楽しく、この一年間、林業について色々なことを学ぶことができました。今後は、講義や長期インターンシップなどの実習を受講し、即戦力となれるように頑張ります。



【眞崎岳紀さん】

私はずっと旭川で暮らしており、慣れた土地で学校生活を送っています。学院では、先生たちが優しく、悩みなどをすぐに聞いてくれたり、分からないところを丁寧に教えてくれます。また、授業は初めて学ぶことが多く大変ですが、毎日楽しく学んでいます。これからは、長期インターンシップを無事に乗り切りたいです。



学院運営評価結果の公表について

本学院では、学校教育法に基づき、教育活動や学院運営状況についてPDCAサイクルにより評価、改善等を図るとともに、その内容について生徒及び保護者の皆さまをはじめ、林業・木材産業の業界関係者に広く情報提供することとしています。

今年度の学院運営評価結果は次のとおりですが、詳細は、北森カレッジのホームページで公表していますので、ご覧ください。

評価項目	一次評価 (学院)	二次評価 (外部有識者)			
		実施方法	取組内容	評価結果	改善策
(1) 即戦力となる人材の育成 企業等の中核を担う人材の育成	—	※2年生を対象として評価することとしており、現在2年生は不在となっていることから、評価を実施しません。			
(2) 身につけるべき能力を習得するための教育課程	A	A	A	A	A
(3) 能力のある生徒の受け入れ	B	B	A	A	B
(4) 学院の適切な運営	A	A	A	A	A

注) 一次評価について、「A」は順調、「B」は概ね順調、「C」は進展あり、「D」は見直し等が必要を表す。
二次評価について、「A」は適切、「B」は概ね適切、「C」はやや不適切、「D」は不適切を表す。

新校舎が完成しました

新校舎は、令和3年2月に完成し、いよいよ4月から供用開始となります。今後は、新校舎を生きた教材として、断熱性や耐震性に優れた直交集成板であるCLTや、変形を防ぐ乾燥技術となるコアドライ、バイオマスエネルギー等を学ぶ授業で活用する予定です。

オール道産木材で建てられた校舎は、木の香りが漂い、明るく温かみのある空間です。晴れた日には、ホールから大雪山系の山並みが一望でき、雄大な旭川の自然を感じることもできます。お近くにお越しの際には、ぜひご見学ください。



校舎全景

【構造規模】 木造（一部RC造）地上2階 地下1階 【面積概要】 1,299m²
【道産木材使用状況】①構造：CLT 158m³ コアドライ 19m³ 集成材 64m³
②外装：カラマツ羽目板等 21m³ ③内装：道南スギ羽目板等 41m³ ④木製サッシ 等



2Fホール



実習室



基礎教室

支援協議会から給付金が贈呈されました

北海道林業・木材産業人材育成支援協議会から生徒に対し、昨年9月に引き続き今年度2回目となる給付金が支給されました。この給付金は、道内各地で行われるインターンシップに係る旅費等に活用することで、経済的な負担を軽減することを目的に支給されています。

今回は、実習地までの距離に応じて給付金が配分されており、今年度の支給総額は約300万円となりました。

3月4日に行われた給付金授与式には、沓澤代表幹事と寺島事務局長が来校され、生徒に対し給付金を贈呈していただきました。沓澤代表幹事からの「北海道は広いが、お金を気にせず、遠くまで足を運んで経験を積んでほしい」とのお声かけに対し、生徒代表からは「給付金を大切にに使わせていただき、就職に向けて本格的に活動していきたい」と力強く応えていました。

お知らせ（前期授業料等について）

令和3年度前期納入金は、授業料81,600円、納入期限は令和3年5月14日を予定しています。また、実習経費等の学生諸費については4月中の納入期限を予定しており、それぞれの詳細については、改めてご案内します。

第1期生の就業に向けて

北森カレッジでは、いよいよ第1期生が来年3月に卒業を迎えることから、生徒が道内の林業・木材産業へ着実に就業できるよう、業種適性の把握や、求人者と求職者の雇用関係の成立をあっせんする無料職業紹介事業の実施など、関係団体と連携して取組みを進めています。

3月23日には、企業等が自社の仕事内容等を生徒にPRし採用につなげる「北森カレッジ就業ガイダンス2021」を開催しました。こうした生徒に限定した林業・木材産業関連企業等による合同の企業説明会は、道内初の試みであり、当日は48社もの企業等が参加しました。

熱気に包まれた会場では、生徒が興味のある企業ブースを訪問し、真剣な表情で積極的に質問を行っていました。



〔熱気に包まれた会場風景〕

北森カレッジ生徒募集について

北森カレッジでは、第3期生の生徒募集に向けて、新しいパンフレットやポスターを作成するとともに、意欲ある人材を道内外から幅広く確保するため、「オープンキャンパスオンライン」を学院ホームページに開設しました。

このサイトでは、学院長自ら身体を張って撮影したPR動画や校歌、授業風景の紹介、新校舎ツアーや個別相談受付など、盛り沢山のコンテンツとなっていますので、ぜひご覧ください。

また、来年度についても、オープンキャンパスや定期的な学院説明会等を実施することとしており、日程や募集要項の公表等は、随時ホームページ等でお知らせしていきます。



北森カレッジ 検索



■ 編集後記 ■

北森カレッジの開校から1年が経ちました。あっという間の1年です。生徒はしっかり講義等に取り組んでおり、特に、スキー実習での、時に楽しく時に真面目に取り組む生徒の姿や、就業ガイダンス時の真剣な様子が印象に残っています。

いよいよ4月、初めての2学年体制での学院運営が新校舎でスタートします。生徒が元気に有意義な学校生活を過ごせるよう、職員一同取り組んでまいりますので、引き続きの御支援、御協力をお願いいたします。

「OGARU」とは北海道の方言で「成長する」「大きくなる」という意味の言葉「おがる」です。北森カレッジの生徒や、北海道の森林が大きく成長する願いを込めています。

■ 生徒の様子はこちらから ■

ホームページ

Facebook

Twitter



発行

〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号

北海道立北の森づくり専門学院 教務課

Tel(直通) : 0166-75-6163 Fax : 0166-75-6160